

開催中止 令和元年度 CIEC・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム
『激動の続く中東・中央アジア』

CIEC・中央ユーラシア調査会は、新潟県立大学 袴田茂樹教授を座長、中央アジア・コーカサス研究所 田中哲二所長（兼 中国研究所会長）を代表幹事として、平成12年（2000年）以降、中央ユーラシア地域の専門家が定例的に会合し、年7～8回の内部調査会・年1回の公開シンポジウムを開催してまいりました。

さて、現在、アジア・ユーラシアは世界の激動の中心になっていることは周知のところですが、「貿易関税戦争」を中心とする米中対立、より長期的には「シェール革命」の成功による米国のアジア・ユーラシアのエネルギー争奪からの後退、その政治的空白への中露の進出と所謂「中露蜜月」状態の強化といった、大国間の政治・経済の枠組みの変化が背景にあります。このうち、中国に関しましては、「CIEC 国際情勢シンポジウム」で取り上げておりますため、本シンポジウムでは、ロシア、中央アジア、中東（イラン、シリア）情勢を中心に議論を深めたいと考えます。

記

1. 日 時：令和2年2月20日（木） 13：30～16：30（受付開始13：00）
 2. 場 所：東海大学校友会館 「阿蘇の間」
千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階 TEL：03-3581-0121
（地下鉄銀座線虎ノ門駅5番または11番出口より徒歩3分）
 3. 講 師：袴田 茂樹 氏 新潟県立大学 教授/青山学院大学 名誉教授
田中 哲二 氏 中央アジア・コーカサス研究所 所長/中国研究所 会長
杉浦 敏廣 氏 （公財）環日本海経済研究所 共同研究員
茅原 郁生 氏 拓殖大学 名誉教授/元陸将補
富山 未来仁 氏 外務省 欧州局 中央アジア・コーカサス室長
※上記のほか、中東情勢を専門とする講師を予定しています。
 4. 主 催：一般財団法人 国際経済連携推進センター
 5. 後 援：日本商工会議所
一般社団法人 日本貿易会
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
 6. 参加費：2,000円（税込）
 7. 申 込：2月17日（月）必着
- ◆問合せ先：担当 富所（とみどころ）、脇田（わきた）

主 催：一般財団法人 国際経済連携推進センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館2階
Tel:03-3503-6621 <https://www.cfiec.jp/>

令和元年度 CIEC・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム

『激動の続く中東・中央アジア』

主催:一般財団法人 国際経済連携推進センター(CIEC)

プログラム

令和2年2月20日(木) 13時30分～16時30分

於:東海大学校友会館「阿蘇の間」

開会

13:30

基調講演

13:35～14:05

袴田 茂樹 氏 新潟県立大学 教授/青山学院大学 名誉教授
CIEC・中央ユーラシア調査会 座長
「ロシアの新天地政学と中東・中央アジア」

報告

14:05～15:10

モデレーター兼コメンテーター:

田中 哲二 氏 中央アジア・コーカサス研究所 所長/中国研究所 会長
CIEC・中央ユーラシア調査会 代表幹事

報告者 4名

杉浦 敏廣 氏 (公財)環日本海経済研究所 共同研究員
「中央アジア資源国の台頭と中東産油国への影響」

茅原 郁生 氏 拓殖大学 名誉教授/元陸将補
「中国の中東・中央アジアへの地政学的な関わりと大国関係のジレンマ」

富山 未来仁 氏 外務省 欧州局 中央アジア・コーカサス室長
「中央アジア情勢と日本の対中央アジア外交」

※上記のほか、中東情勢を専門とする講師に、米・イラン軍事的緊張と中東情勢について
報告して頂きます。

<休憩 10分>

ディスカッション

15:20～16:25

閉会

16:30